



しがいわ 議会だより

町小学校陸上競技大会

61

2007.7.15

議 会 構 成	2
議会で議決された議案	3
一 般 質 問	4~10
議会のうごき	11
「究める・人」シリーズ No.1 こくわ育種	12



副議長
佐藤 征男



議長
黒坂 久一

初議会

5月8日、町議会議員選挙後、初めての議会（平成19年第2回臨時議会）が招集され、議会の構成が次のとおり決まりました。



広報公聴常任委員会
◎井場 榮治
○池上 博
宮林 昌弘
青山 知教



総務厚生常任委員会
◎池上 博
○渋谷雄三郎
佐藤 征男
井場 榮治
青山 知教



議会運営委員会
◎渋谷雄三郎
○渡邊久一郎
池上 博
井場 榮治



産業建設常任委員会
◎渡邊久一郎
○古澤 俊一
黒坂 久一
宮林 昌弘
松田 昌一

委員会の構成

◎委員長 ○副委員長



町監査委員（議会選出）

井場 榮治

西村山広域行政事務組合議会議員

黒坂 久一
池上 博
古澤 俊一

町有林運営委員会委員

渡邊久一郎
黒坂 久一
宮林 昌弘
松田 昌一

第2回臨時会(初議会)で議決された議案

◆西川町町税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認

地方税法が改正され、4月1日から施行されたことから町長が3月30日に専決処分したことについて、承認しました。(町内に事業所を有する者に対して新たに法人税割を課税)

◆西川町監査委員の選任

議会選出の監査委員について、井場榮治議員を選任しました。



6月定例会傍聴席

6月定例会で議決された議案

条例案

◆西川町社会福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

「重度心身障害(児)者」「重度心身障がい(児)者」に改正
対象者の所得制限の緩和(課税所得145万円↓町民税所得割23万5千円)

補正予算案

◆一般会計補正の主な内容

- 議会臨時職員の実金 138万円
- 大井沢温泉館揚湯ポンプの修繕費用 350万円
- 月山銘水館地ビール工場の遠心分離機等の修繕費用 150万円

西川町老人保健特別会計への繰入金 618万6千円

朝日連峰避難小屋管理委託費用 8万5千円

大井沢森林公園の木歩道整備等費用 50万円

西山小学校食器消毒保管庫の更新費用 100万円

白い発芽胚芽米 月山まんまの小学校給食への導入費用 49万3千円

町道水沢岩根沢線災害復旧費用 50万円

◆老人保健特別会計補正の主な内容

平成18年度社会保険診療報酬支払基金交付金の精算費用 618万6千円

常任委員会の年間調査テーマ

常任委員会	所 管	テ ー マ
総務厚生常任委員会	総務企画課 町民税務課 出納室 健康福祉課 町立病院 教育委員会 他の常任委員会の所管に属さない事務	① 保健福祉医療行政 ② 教育行政 ③ その他所管事項
産業建設常任委員会	産業振興課 建設水道課 農業委員会	① 白い発芽胚芽米 月山まんまの製造販売 ② 農林商工業の振興 ③ 下水道の整備計画及び経営状況 ④ 流雪溝の整備計画 ⑤ その他所管事項
広報公聴常任委員会	議会活動の広報、議会活動への町民からの意見聴取	① 議会だより発行 ② ホームページ更新 ③ 町民からの意見聴取 ④ その他所管事項

統合小学校建設予定地は 安全性や自然環境に適しているか

町長…教育的、自然環境的にも適地。



渡 邊 久一郎 議員



人口の減少や厳しい財政状況を考えれば、26億円を要する新築による統合は避けるべきでありませぬ。しかし、町では統合小学校の建設場所について、用地選定委員会の答申を受けて検討した結果、海味アソウ地区としたい旨を議会に示しました。示された場所は、低地で山と高い土手が迫っており、ダムのような感じがします。安全性に欠け、自然環境についても教育の場としては問題があり、再検討すべきではありませんか。

建設にあたっては、どの程度かは未定ですが、当然盛土等の用地の整備が必要と考えています。しかし、現時点でも予定地について降雨、降雪、あるいは地すべり等についての懸念はないと考えています。仮に、上流域の降雨等によって寒河江川の水位が上昇して浸水する心配がないのかという点は、最上川ダム統合管理事務所から、安全確保の観点で想定している水位等についてお聞きしており、それによると、かつて昭和44年8月に発生した本町最大の豪雨による降雨量のお

よそ1・6倍の降雨量であっても一定量を放流しながらダムで保有できるように設計施工され、かつ種々の安全対策によって管理されており、予定地区での浸水等の心配はないと確認しています。その他、河川側への安全柵等の設置等は当然必要と考えております。また、自然環境について

は、日照、静寂性等は十分確保できると思っておりますし、低い場所にあるという点は、特別に低いとは考えておりませんが、用地造成の際には、整形、盛土に配慮・工夫したいと思っております。そのようなことから総合的に判断すれば教育的、自然環境的にも適地であると判断しております。



海味育苗センター付近

人口減少にストップを

町長…町の核となる拠点地の形成等が必要。



渋谷 雄三郎 議員

5次総の「中期実施計画」について

町づくりの基本は、定住人口を増やすことです。人口減少の原因は、

特徴的な原因としては、昭和30年代から50年代にかけての、高度経済成長期の若者層の都会への流出。産業構造の変化。町内各鉱山の休廃止。さらに寒河江ダム建設に伴う集落移転。近年の高学歴社会によって、都市部に流出した若者が町に帰ってこないことなどを受け止めています。

どうすれば定住人口が増えると考えていますか。

町の核となる拠点地の形成。所得向上と就労の場の確保。教育文化振興と結婚・子育て環境整備。雪対策とコミュニティ支援などが必要と考えています。

小学校を1校新築することにより定住人口の維持確

保が可能と考えていますか。

いろいろな要素を総合的に進める必要があります。その一つとして小学校の統合問題があると考えています。

地域支援職員派遣事業は、定住人口の維持確保の1点で進めるべきではありませんか。

定住人口維持は極めて重要ですが、併せて地域の課題問題の解決も必要だと考えています。

1人暮らし世帯対策の観点から、水道料金の基本水量10m³を基本料金とする料金体系を見直すべきではありませんか。

共通経費を、全加入者からご負担いただくというところで採用していますが、今後、施設の改良も必要であり、今後の料金の見直しの中で検討したいと思っています。

小学校1校新築について

小学校を1校新築することについては、財政状況や子どもの減少等から、町民の間には疑問の声が多くあります。

将来に禍根を残さないためにも「町民アンケート」や「町民座談会」等を実施すべきであると考えていますが、

これまで多くの町民の皆さんと議会での検討を踏まえてのことであり、ここに至ってアンケートを実施するというのは、ただ無用の



子育て支援センター

混乱を招くだけであり、そのようなことはすべきではないと考えています。町民座談会は、開催してまいります。

町では小学校の建設場所について海味アソウ地区と決定しましたが、見直す考えはありませんか。

小学校新築も含めて、若者定住対策であり子育て支援対策であると考えており、それらを総合的に全力で取り組んでいきます。建設用地については見直す考えはありません。

活気ある町づくりの推進方策について

町長…地域支援職員派遣事業を進める。

移動町長室



宮林昌弘 議員

町づくりの推進について

活気ある町づくりを推進するために、町民の声なき声（陰の声）をどう引き出しますか。

私の町づくりの基本は、「町民の声を聞く」と、「地域の発展が町の発展」であり、そのため町長室の開放、提言箱の設置、移動町長室の開催、さらに地域支援職員派遣等を行っているものです。

町長室の開放や提言箱の状況は。

平成14年から現在まで、町長室開放は、42件、延べ102人。提言箱では延べ75件の利用となっております。近年利用者が減少しているようですが、今後とも町民参加型の町政を目指すという姿勢を貫いていきます。

協働の町づくりを推進するために、高齢者、婦人層

及びヤング層がアイデアやパワーを発揮する機会をつくり、高齢者の生きがい対策や「知恵と技能と経験」を有効に活かす手立てはありませんか。

今後必要なことは、リタイアされた方々が、その有り余る能力と時間を有効に使い、かつ町づくりの原動力になるようなプログラムやシステムをつくることにも、高齢者、婦人層、若者層、それぞれがもつと力を発揮いただく手段と方法を進めることだと考えています。

小学校なき後の地域活性化について

今年から大井沢、岩根沢及び入間小学校が水沢小学校に編入統合されました。小学校は学区民にとって、心のより所であり、また中心的存在であります。地域と学校が連携し、長年やってきた学校行事等についての穴埋めやフオー策を

講じ意気消沈しないように、そして地域が寂れないように、町長は学校設置者として考えるべきではありませんか。

今後の地域や町の発展を考え、地域支援職員派遣事業を進めており、小学校なき後の休廃止校の利用も含め十分に検討していきます。ただ、地域の振興という観点も勿論重要ですが、本年4月からの統合によって、子どもたちが実に生き生きと学校生活を送っています。そのことをまず優先して考えていただく必要があります。

地域と学校の連携についてはそれぞれの地域でも十分ご検討いただければと思います。

提言箱の設置場所

- 老人福祉センター
- 開発センター
- 水沢温泉館
- 大井沢支所



第69回睦合小学校相撲大会

中核地形成成計画のソフト面も 早期に提示すべきではないか

町長…公共施設等の総合的な集積を図る。



古澤 俊一 議員

将来の構想、設計 いち早く

町外への人口流出に歯止めをかけるために、人口集積地づくりと併せて、夢を語りながら夢を具現化する町づくりを早急に進める課題ではありませんか。

今後の町を考えると、やはり人口の問題を切り離しては考えられないと思っております。そのために、ひとつは間沢海味線沿線に住宅団地、統合小学校を含めた公共施設等の総合的な集積を図り、さらに商店機能も付加していくことが必要と考えています。財政的には厳しさも予測されますが、やらなければならぬことは、確実にやっつけていかなければならないというのが私の考えであります。

食の問題は最重要 課題

1人暮らし、2人暮らしの高齢者世帯が増えていま

す。

高齢者は足腰も体調も弱り、買い物にも不便をきたしています。

今後の日常生活をどのように考えていますか。

現在、商工会とともに、情報収集を行いながら、その方策を検討しています。町内の事業者等から出店いただけることが一番ですが、最近の情報では、コンビニエンスストアも、高齢者をターゲットにした店舗の設置の動きもあると聞いており、町外からの出店、宅配等も含めあらゆる検討を進めています。

後世に良かったと 言われる学校建設を

小学校の建設については、これまでも増して、安全安心な施設が求められています。

いろいろな分野の皆さんの希望や意見を取り入れる必要があるのでは。

統合小学校の基本設計は、プロポーザル方式（提案方式）等を視野に考えていますが、その際の設計内容については、教育現場やPTA等町民の要望、意見を集約して設計に反映させるべく検討しています。また、

施設・設備では、過大で豪華な施設や設備は不要と思いますが、図書館や体育施設の町民利用も検討されており、予算の範囲内で最大限のものを建設したいと思っております。



民間バス存続心配、どう捉えるか

町長…利用者への助成は分析、判断が必要。



放課後子どもプラン事業

平日、5校
全体で30人
前後、5月
の実績では
開催日数19
日で延べ6
00人です
た。初の事
業であり課
題はありま
すが、まず
は順調なス
タートがで
きたと理解
しています。



池上 博 議員

人口減少抑止策に
全力を

県では、人口減少抑止策に全力を挙げるとしています。

本町でも、放課後子どもプラン事業を実施していますが、その進捗状況は。

5月から、町内小学校全校で実施しており、310人の児童中145人、46・8パーセントの登録がありました。実際の利用者数は、

民間路線バス乗客
減少で存続が心配、
どう捉えるか

住民生活に欠かせない民間路線バスが県内の至る所で廃止に追い込まれてい

ます。山交バス(株)では、山交ビルⅡ水沢温泉線を1日7往復運行していますが、国及び県から補助金をもらって300万円の赤字となっています。また、この補助金が見直しされようとしています。

路線バスの存続が心配される中で、利用者に50パーセントを補助し、利用拡大を図れないでしょうか。

民間路線バス運行の維持については、これまで同様山交バス(株)と協議しながら対応していきます。

利用者への助成は、利用者の拡大に結びつくかどうかの分析と判断が必要であり、高校生の通学対策とも併せ、小学校の統合に向けて現在進めている町営バス



の見直しの中で十分検討していきます。

月山夏スキー臨時バス運行について

月山夏スキーの臨時バスの運行について、運行回数が138回、1回あたりの乗客数が6・8人では採算が合いません。

赤字分を補填し、存続すべきと考えますが。

連休期間中は、町営バスのみでの対応は不可能ですので、今後の運行についても例年の動向を見ながら、運行回数の調整をするなど山交バス(株)と協議しながら検討していきます。

公共下水道工事の今後の整備計画は

町長…事業経営、財政の見通しをたて結論。



松田 昌一 議員

町の財政状況について

一般家庭では借金にあたる町の債務の元金残高は。また、その返済計画は。

一般会計が71億6659万円でその他に特別会計、企業会計、及び債務負担行為分を併せた合計は108億9347万円となっています。返済については、財政計画に沿って借入を行っており、それに従って返済を行っています。

町の債務の中で過疎債の割合は。

一般会計分で、およそ44パーセントを占めています。

過疎債の7割程度が地方交付税で補填されるといわれていますが、その仕組みは。

地方交付税の基準財政需要額の算定に当該年度の元利償還金が算入され、その

際の算入率が7割と規定されており。

一般家庭では貯金にあたる町の基金の内容及び残高は。

平成18年度末時点での基金の残高見込みは、すべての基金で20億9300万円ほどであり、そのうち各自治体が共通して財政的な基金としている財政調整基金と減債基金をあわせて15億4061万円ほどとなっています。

下水道事業について

公共下水道の睦合及び海味地区の加入状況は。

平成19年4月末現在で、睦合地区79・8パーセント、海味地区55・5パーセントです。

公共下水道工事の間沢地区の完成時期並びに今後の整備計画は。

間沢地区の工事完了見込みは平成22年から23年度を見込んでおります。町の公共下水道計画では、吉川地区もその整備エリアになっていますが、今後の事業経営の見通しや一般会計における繰出金等の財政見通し、さらには合併浄化槽の普及状況を考慮し、最終的な検討を行っており、9月議会までは結論を得たいと考えています。

公共下水道及び集落排水の加入促進策と経営方針は。

公共下水道工事は極めて大きな投資であります。皆様からの利用によって初めて経営が成り立つものであり、接続率の低い地区に対しては、職員が伺いをし、ご理解を求めてまいります。



下水道管渠工事

介護保険事業のサービス向上を

町長…利用者本位のサービス提供へ一元化を検討。

施設利用者食事介護



青山知教 議員

施設入所利用が満床の状態のなか在宅介護サービス向上のために、居宅介護支援事業所と施設短期・通所事業の統合を検討すべきと考えますが。

サービス事業者が、複数よりも一か所でケアプラン作成や介護サービス提供を行うことにより、より利用者本位のサービス提供と効率的な運営が可能と考え、居宅介護支援事業所及び居宅介護サービスの一元化について検討しています。

今後増大する地域福祉の展開策は。

一人暮らしや老人夫婦の方々などへの見守りや支援策を講じており、社会福祉協議会の活動がますます重要であり、今後の社会福祉協議会の地域福祉活動のあり方やその体制について検討したいと考えています。

小学校に町の施設の併設を

統合小学校の建設設計には、町民各層からなる委員会を設置し、町立図書館及びプール等を併設すべきであると考えます。

また、太陽熱、水力発電雪室等を活用するエコ学校を検討すべきではないでしょうか。

設計の際は、町民、教育現場の意見を集約したいと考えております。現在の町立図書館も手狭であることからプールも併設し、併用も検討課題としております。自然エネルギーのエコ学校については、補助制度、コスト面等を考慮し検討してまいります。

安中坊大江公屋敷跡地の整備を

町では平成5年、町資料館（月山ミュージアム）の建設を目的に安中坊大江公屋敷跡地を町有地として取

得しました。今日までの変遷と今後の整備活用計画は。

歴史的価値が認められると判断し、町有地として取得し、「安中坊遺跡調査委員会」を発足させ、5年間にわたり発掘調査を実施しましたが、鎌倉期の館跡を示す遺構・遺物の確認はできなかつたとの報告をうけ

ています。しかし、寒河江大江氏の宗家として、羽黒山「中興の祖」と言われる第50代別当天有は安中坊の出身であり、これらの事実のみでも安中坊屋敷跡は歴史的な価値の高いものと受け止めています。今後の整備活用については、地域支援職員派遣事業等の中で、地域の方々とご相談して対応していきます。



大江公屋敷跡発掘調査説明会（平成15年）

議会のうごき

臨時議会

■5月8日(第2回)

◆議長の選挙について

◆副議長の選挙について

◆常任委員会委員の選任について

◆議会運営委員会委員の選任について

◆西川町町有林運営委員会委員の選出について

◆西村山広域行政事務組合議会議員の選挙について

◆議員派遣について

◆西川町町税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について

◆西川町監査委員の選任について

当日は、役場本庁舎玄関ロビーで議員章交付式が行われました。式では、町職員が見守る中、初当選の3議員が女性職員から襟元に議員章をつけてもらいました。

全議員協議会

■5月1日

◆第2回臨時会の議事について

■6月5日

◆移動町長室の開催について

町では、町民の皆さんの意見を町政に反映することを目的に、6月12日から6月28日までの間、町内13地区で移動町長室を開催

◆西川町地域支援職員派遣事業について

町では平成18年度から、

協働の町づくりを進めるために、間沢、沼山(原を含む)、小山及び本道寺(志津及び弓張平を含む)の4地区に地域担当職員を配置しています。平成19年度から新たに、睦合、海味(間沢川を含む)、綱取、水沢(小沼を含む)、岩根沢(沼の平を含む)、吉川、入間、大井沢の8地区に派遣

◆西川町開発センター改修工事について

町では、昭和48年に完成した開発センターについて、平成19年度に大ホールの改修工事、20年度に耐震工事を実施

◆平成19年度西川町内の主な建設事業について

国土交通省、県及び町では平成19年度、国道112号間沢交差点改良工事や町道熊野北線並びに海味大堰の流雪溝整備工事等、町内27か所で建設工事を実施予定

新議員研修会

初当選の3議員を対象に新議員研修会を5月29日、役場で行いました。

研修会では、平成19年度の予算について町の課長等から説明がありました。

町村議会広報研修会

県町村議会議長会主催の第24回町村議会広報研修会

が5月30日、山形国際交流プラザ(ビッグウイング)で行われ、広報公聴常任委員会委員4人が参加しました。

議会広報の向上発展を目的とした研修会では、議会だよりでもっとも求められるものは正確性であるとの講演があったほか、「にしかわ議会だより」をはじめ6町議会の議会だよりの編集指導がありました。



広報研修会

こくわ育種



民間育種の 第一人者

佐藤 一男さん
(入間・82歳)

佐藤さんは、こくわの育種に精力を注がれ、地域興しに一役買っています。

月山地域に自生しているこくわの中から、実が大きくて甘みが強いものを選抜し、20数年かけて育種に成功。これまでに、アイスクリームなどの加工用として「光香」、生食用として「峰香」を品種登録しました。

2年前、数あるこくわ木のなかの一本に鶏卵大の実がついているのを発見しました。普通の実の3倍に相当する大玉の育種に成功した瞬間です。品質も良く、「光香」「峰香」に次ぐ第3の品種として登録を申請する予定です。

この大玉のこくわは、日本列島でも珍しいDNA染色体倍数6〜7倍体のもので、月山周辺の豪雪地帯

でなぜ存在するのか、いま学会の注目の的になっています。

こくわの進化を見極める目安を数年前に発見。個性の良しあしは葉の顔に出ていること、種を播いてから2〜3年で花が咲く前にメス、オスがわかること、果実の大小を木で判別できる画期的な方法を確立したことで、これがジャンボ大玉種(上の右の写真)の誕生につながりました。

82歳の現在、こくわの民間育種の最前線に立ちながら、次の品種づくりに夢を描いている毎日です。
(インタビュー 池上博)



61号の紙

自己ベストを 目指して



5月24日、町民グラウンドで開催された町小学校陸上競技大会。町内の全児童約300人が参加し、全員が全力で走り、跳び、そして引っ張りました。

編集後記

編集委員が6人から4人になりました。

少ないメンバーで精一杯、町民の皆さんに親しみやすい編集を心がけてまいりました。

これまでの「もったいない」シリーズにかわり、今回からは「究める・人」シリーズとしてスタートしました。地域でこつこつがんばっている方を紹介していきます。

編集についてのご意見や感想をお寄せください。
(井場榮治)

《発行・編集責任者》
議長 黒坂 久一

《編集委員》

委員長 井場 榮治
副委員長 池上 博
委員 宮林 昌弘
青山 知教

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか
**次回定例会は
9月招集です**